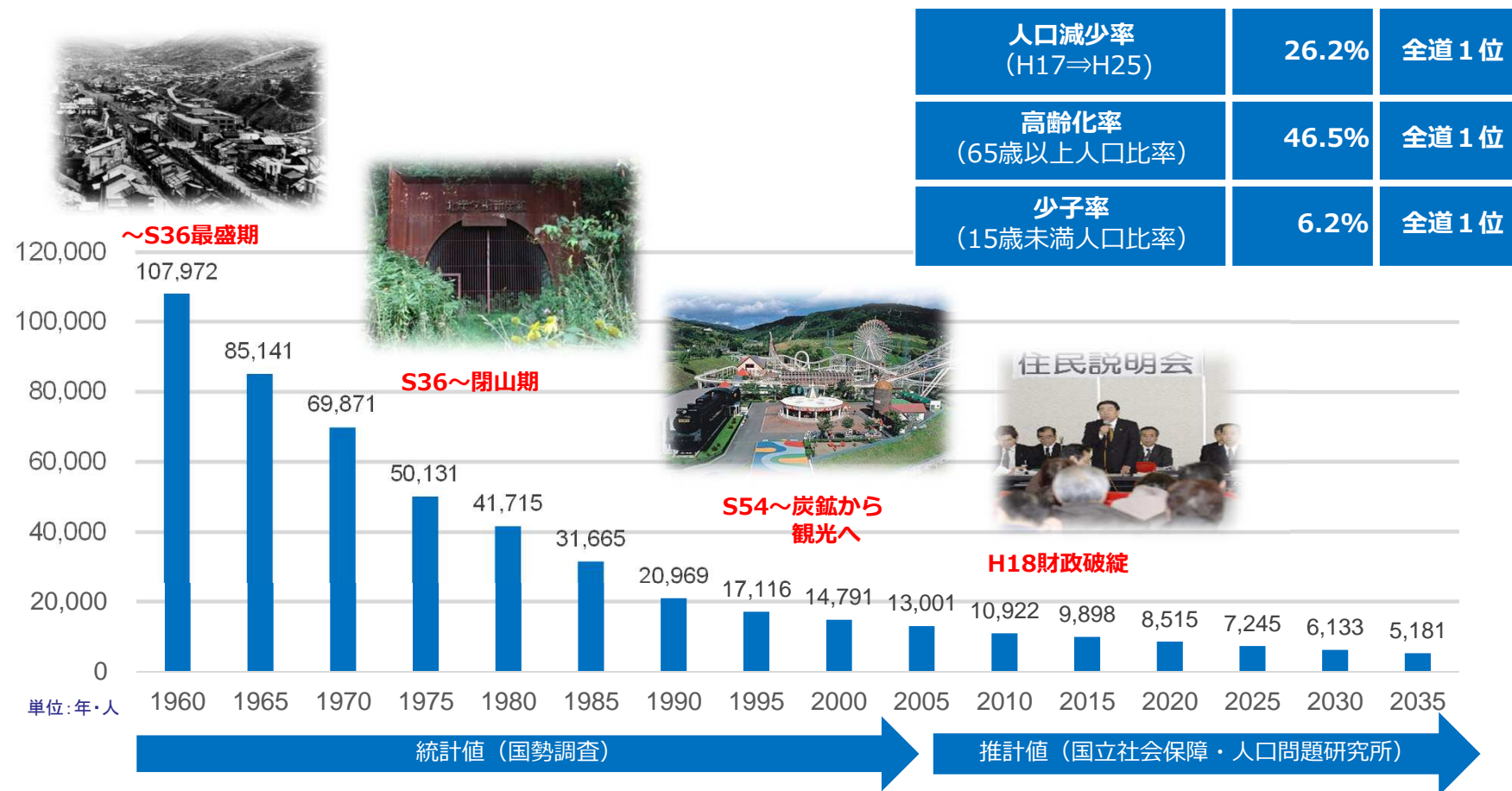


地域活性化モデルケース(都市・地域)としての位置づけ

- 分散化する地域の集約化を進め、持続可能な地域社会を構築
- あらゆる地域資源を活用した地域振興(人口減少の抑制、産業支援、若者定住)

夕張市の現状分析 (地域の超高齢化・人口減少社会の実態等)



夕張市地域活性化モデルケース提案書（2）

地域活性化に向けた目標

- ・次世代に希望が見えるまちへ
- ・真の地域再生へ（地域力・人間力の創造）
- ・夕張の取組を全国の地域のカへ



コンパクトシティの進め方のイメージ

【将来都市構造へのプロセス】 将来都市構造への再編は、概ね20年程度かけて段階的に行う。

＜現在：市街地分散＞

西 ← 25km → 東



＜当面：地区ごとにコンパクト化＞

北
↑
35
km
↓
南



＜将来：都市構造の転換＞



夕張市まちづくりマスタープランの概要

基本理念・まちの将来像・まちの基本目標

【基本理念】

夕張の歴史文化・自然環境の保全と継承

歴史文化

夕張の発展を支えた産業遺産や各地域の強いコミュニティ・きずな（旧炭鉱住宅群跡、スリ山、地域文化など）

自然環境

長い時間をかけて形成してきた、貴重で豊かな自然環境（夕張岳、夕張川、貴重な動植物など）

【まちの将来像】

安心して幸せに暮らすコンパクトシティゆうばり
～夕張の歴史文化・自然環境を大切に持続可能な地域社会の構築～

【まちの基本目標（ビジョン）】

暮らし

豊かな生活の確保・推進

- ①安心・安全に生活できるまちづくり
- ②誰もが暮らしやすい、ひとにやさしいまちづくり
- ③快適で魅力のあるまちづくり
- ④夕張の歴史文化とコミュニティを大切にまちづくり

活力

地域活力の創出

- ⑤地域資源を活かした活力を創出するまちづくり
- ⑥都市経営コストを軽減するコンパクトなまちづくり

環境

自然・地球環境との共生

- ⑦豊かな自然環境・生態系の保全・活用するまちづくり
- ⑧低炭素社会に向けた地球環境にやさしいまちづくり

— 清水沢地区の特徴 —

- 全世帯の約4割が居住
- 小中学校、高校がある。
- 老朽市営住宅が多く建替えを促進
- 工業団地がある。
- 地形は比較的平地
- 交通網が充実
(JR線、国道452号線)
- 再開発可能な市有地が34ha
(うち清陵地区は25ha)

● **C B M国内開発最有力地**

清水沢地区の将来像と基本方針

● 地区の将来像

都市機能が集積した、ゆうばりの新たな拠点となるまち

● まちづくりの基本方針

1. 魅力的な生活環境の創出

- ・地域のコミュニティを大切に市営住宅の再編・集約化と優良ストック化に資する改善による安心・安全の居住環境づくり
- ・市営住宅の建替によるコミュニティ豊かな魅力的な住環境の創出 など

2. 都市拠点および交流拠点機能の強化

- ・都市拠点としての生活利便機能の向上（商業・医療福祉・子育て・交流機能）
- ・学校を核とした地域教育環境の充実
- ・若者や高齢者の同世代や多世代が交流する地区コミュニティ拠点の整備
- ・子どもの居場所となる公園や交流施設の充実

3. 地域活力を生み出す環境づくり

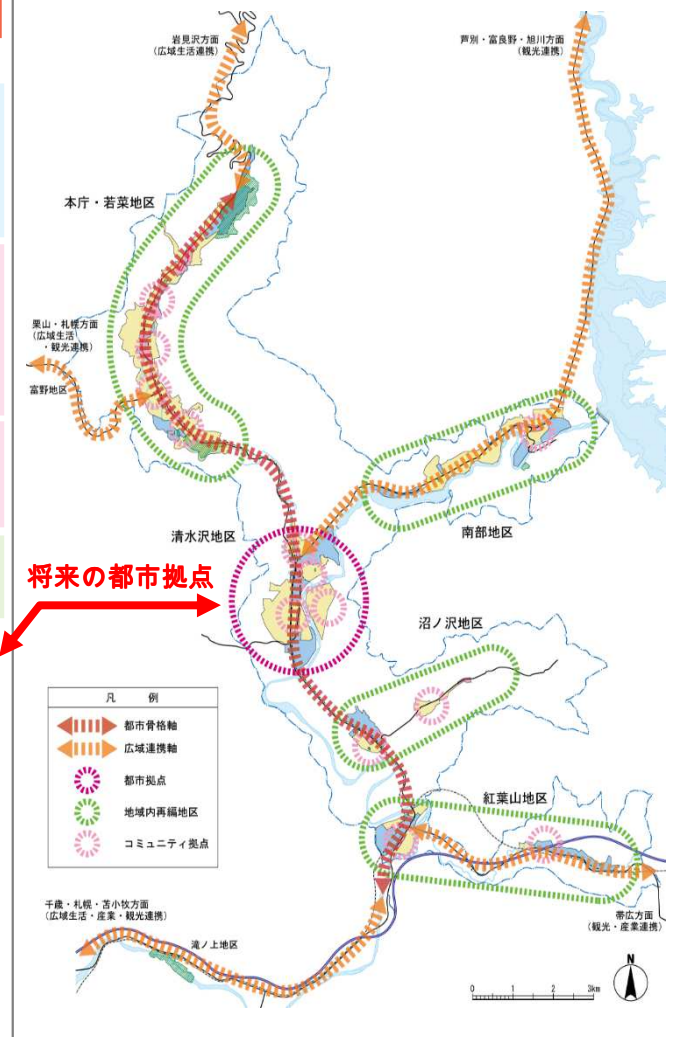
- ・工業団地等への新たな産業立地の誘致・促進
- ・都市拠点の形成による新たな雇用の創出
- ・生産を支える良好な住環境の形成

4. 豊かな自然環境の保全と創出

- ・夕張の原風景（スリ山）の保全と継承
- ・夕張川や志幌加別川などの河川環境の保全 など



【将来都市構造図】

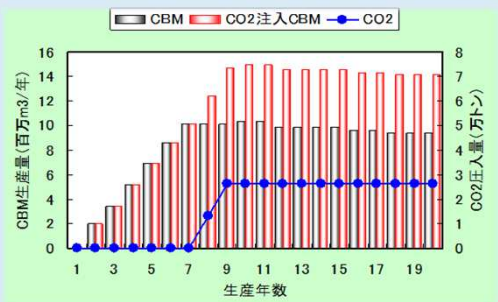
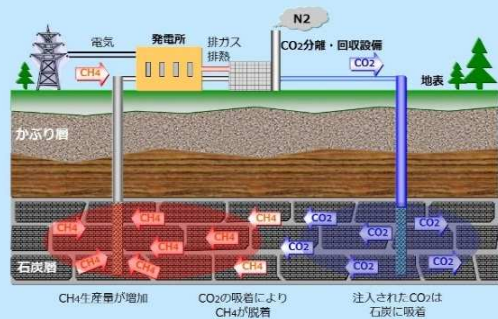


夕張市地域活性化モデルケース（4）

CBM資源量と開発適地（夕張市清水沢）の状況

炭層メタン（CBM）は石炭層に含まれるメタンガス（非在来型天然ガス）

- メタンガス濃度が高い（95 %以上） → 天然ガスの利用技術・用途が適用可能
- 地表からのボーリングにより生産 → 環境負荷が少ない
- 安定したエネルギー源 → 太陽光や風力発電との組み合わせ
- クリーンなエネルギー → 燃焼時のCO2や汚染物質の排出が少ない
- CO2炭層固定 → CBM増産とゼロエミッション発電の可能性

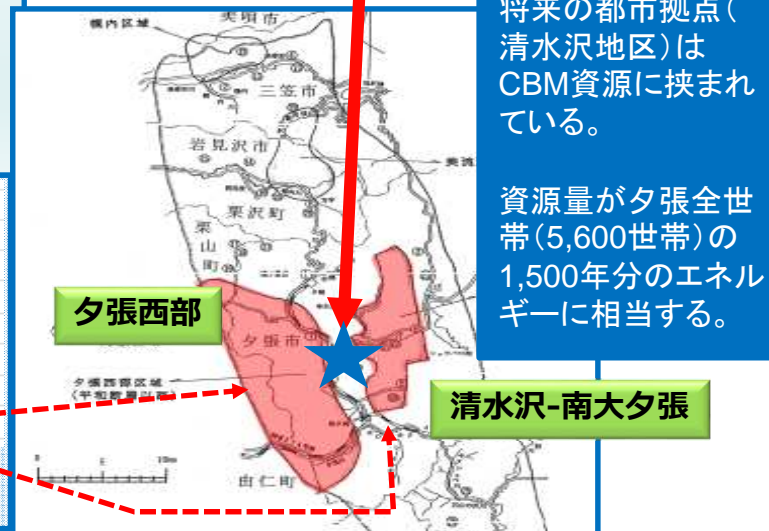
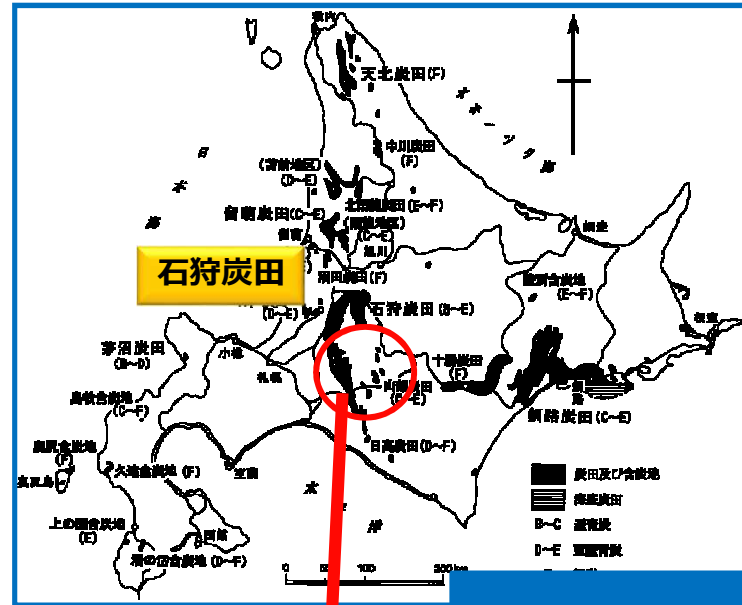


このシミュレーション計算は、世界的に認められているCBM開発シミュレーションソフトウェア (COMET3) を使用し、夕張で実施された二酸化炭素炭層固定化技術開発 (経済産業省補助金) で得られた炭層条件などを用いて実施した。 NPO法人地下資源イノベーションネットワーク

- 石狩炭田全体では
約400億m³の資源量
 - 我が国の天然ガス生産量*
約33億m³/年 (2011)
 - 勇払 (北海道) 生産量*
約5億m³/年 (2011)
- 天然ガス鉱業会, 石油・天然ガスノート
2013年1月

	清水沢～南大夕	夕張西部
面積 km ²	40	32
埋蔵炭量 億トン	5.3	2.8
CBM資源量 億m ³	50.4	26.6

NEDO: 国内CBM資源調査可能性調査 (北海道地区) 1998

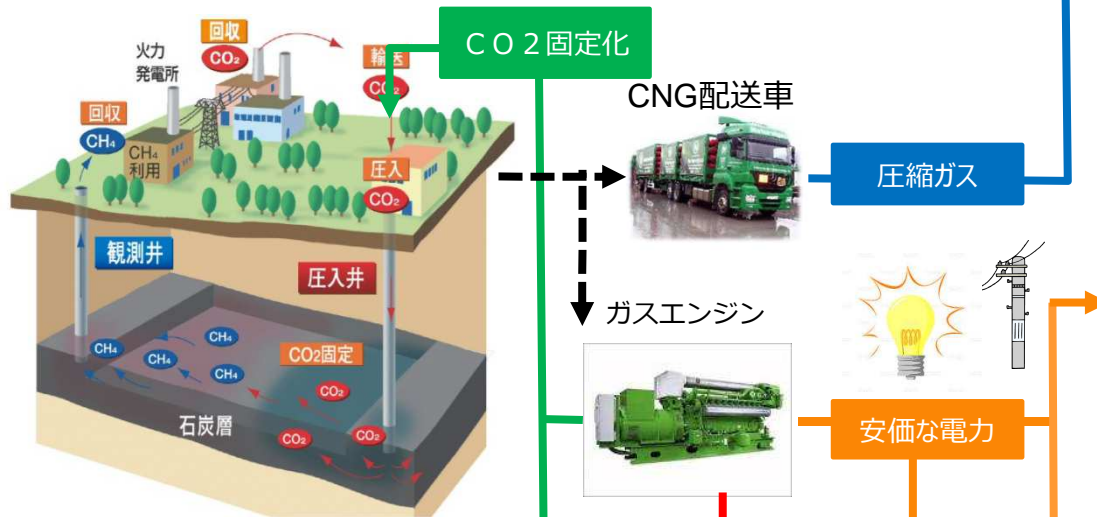


資源量が夕張全世界帯 (5,600世帯) の1,500年分のエネルギーに相当する。

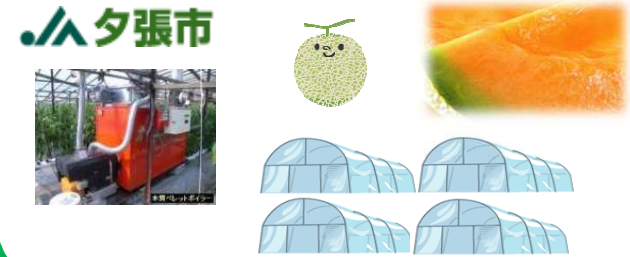
夕張市地域活性化モデルケース（5）

CBMの地産地消のイメージ

・エネルギーの“生産地”に止まらない地域資源の地産地消
 地元企業、農家、公共施設等に対し電力や燃料を供給し、
 地元で消費する仕組み



頑張る農家へ



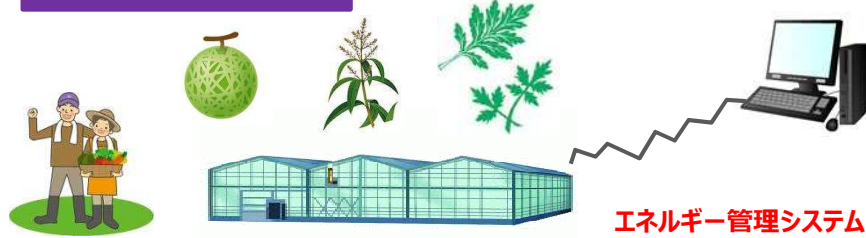
頑張る地元企業へ



公共施設等へ



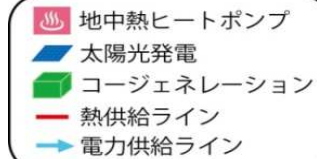
新産業創造へ



今後の都市拠点のイメージ（持続可能な社会構築＋地域元気創造）

○公共施設集約

- 老朽化した公営住宅の建設促進
- 公共施設ファシリティマネジメント
- 民間資金活用、官民協力（コスト削減）
- 施設への地域エネルギーの導入
- 既存施設の長寿命化、統廃合
- △新築施設は複合・多機能、防災機能確保
- △交通結節点との共同化



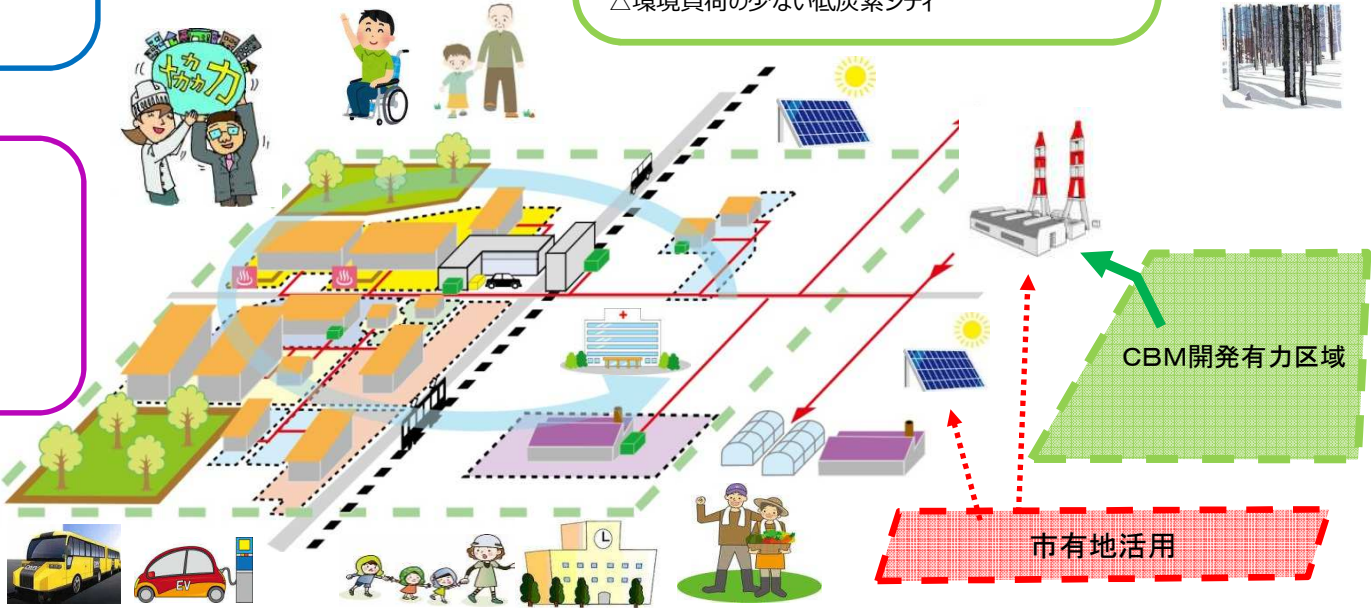
○まちの魅力づくり

- 若者、高齢・障がい者向け住宅の創出
- 地域おこし協力隊・外部アドバイザーの活用
- △文化・スポーツ施設の更なる有効活用（観光・交流人口創出）
- △産業を担う人材育成（人事交流）
- △新たな商業空間・賑わい創出
- △環境負荷の少ない低炭素シティ



○子育て環境の充実

- 図書機能や文化活動拠点整備
- 学力向上のための取組
- 郷土愛を育む教育（仕組みづくり）
- △魅力ある高校づくり（人材確保・育成）
- △児童館や、子育て支援施設整備
- △安心して遊べる公園・緑地の整備



○持続可能な公共交通体系整備

- 車両の中型化、ノンステップ車両導入
- △DMVやデマンド交通の導入
- △乗り換え利便性の向上など交通結節機能の充実・整備
- △CBMを活用した電気・水素車両の導入やEVステーション整備

○安全・安心の確保、環境保全

- 廃校等を活用した集落コミュニティ維持や防災拠点の確保・整備
- 地域医療、介護支援の更なる充実
- △医療・福祉事業者の確保
- △弱者と共生できる社会資本整備
- △市立診療所の整備
- △クイック下水道事業の検討

○地域エネルギー・地域資源の有効活用

- ズリ山活用（歳入確保・減災対策）
- 森林資源（資材・エネルギー）
- △人材の確保・育成
- △CBM開発促進（民間事業者支援）
- △エネルギーを活用した農業支援
- △市有地活用による産業誘致・企業誘致
- △資源の域内循環

※○は実施中または一部実施、△は今後着手予定、構想

地域活性化モデルケース(地方都市型)・行程表
 ～取組みと評価指標・数値目標(KPI)～

26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	KPI
1. 住環境整備					
(1) 公営住宅の建設促進					・建設戸数【70戸】
(2) 民間賃貸住宅建設促進					・建設戸数【40戸】
(3) 民間によるグループホーム・高齢・障がい者住宅の建設促進					・建設戸数【20戸】
2. 雇用創出事業					
(1) 地域資源活用(石炭ズリ)					・事業関連雇用【10人】
(2) 廃校活用関連					・事業関連雇用【30人】
(3) 地域おこし協力隊					・事業関連雇用【7人】
(4) 行政効率化(官民連携、外部委託)					・事業関連雇用【20人】
3. CBM開発関連					
(1) 民間事業者によるF/S調査の実施→開発着手					・事業関連雇用【20人】
(2) 関連事業(発電熱利用、市有地活用)					・事業関連雇用【50人】
4. 歳入確保・歳出抑制					
(1) 公共交通体系の再構築(デマンド交通の導入、バス路線の効率化、DMV営業運行誘致)					・生活路線維持費補助 30%削減